

㈱村尾プレス 環境行動計画

平成25年5月30日

取組方針

株式会社村尾プレスは、電子機器部品の顧客ニーズにあった設計および製造を主たる業務としており、各部門がそれぞれの業務活動の過程で、資源、エネルギーを消費すると共に、各種廃棄物を排出するなど環境に負荷を与えています。

これを踏まえて、当社は環境保全が重要課題の一つであると認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら、進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは環境への負荷を少なくするために、以下の取組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中でのエネルギー消費量(電力使用量、ガソリン、軽油の使用量)の削減
- ② 紙、水使用量の節減
- ③ 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ④ 危険物・化学物質の安全な取扱

この方針に基づいて、社員一人一人が自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成25年5月30日

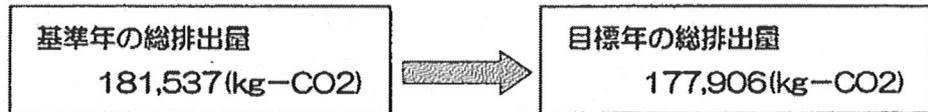
株式会社村尾プレス

代表取締役社長 村尾 健三

3 環境負荷の低減目標

H26 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも H24 年度です。)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 2%削減する



【目標 2-1】 コピー用紙の使用量を 1%削減する



【目標 2-2】 水使用量を 1%削減する



【目標 3】 金属ゴミの分別を徹底、リサイクルを推進し排出量の削減に努める。

なお、一般廃棄物については、適正管理と排出量の削減に努める。

【目標 4】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 屋休みには、電灯の消灯、使用しない機械の電源を切る
- ・ エアコンを使用するときはサーキュレーター等を併用し空気を循環させる
- ・ ハロゲンヒーターなど、個人使用の暖房機器の使用を制限する
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ ノー残業デーの推進や作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ デマンド監視装置を導入し、設定を契約電力の 5%程度とし、使用電力量の見える可を実施する

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度は(冷房時 28 度、暖房時 20 度)を目安に設定する
- ・ 屋休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2-1】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを推進する
- ・ 片面使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組2-2】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 無駄な散水を行わない

【取組3】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程での廃棄物の発生抑制に取り組む
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルするよう努める

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組4】 危険物・洗浄剤の安全管理

- ・ 危険物・洗浄液・使用済み洗浄液は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・洗浄液・使用済み洗浄液の容器は、確実に蓋をする

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、一年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。